荒川区立南千住第二幼稚園

平成 30 年 6 月 29 日
荒川区立南千住第二幼稚園
園長　　立石　晃子

7月 園だより

ホームページ　http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/ youchien/ minamisenju2

心の脳を育てる「読み聞かせ」

園 長　立 石 晃 子

本格的な梅雨に入り、お天気とにらめっこをしては「今日はプールに入れるかな？」と心待ちにしている子供たちです。

本園では、子供たちにお話を楽しんでもらう機会として「おはなし広場」の活動を行っています。時には保護者と一緒に講師の話を聞いたり、時には保護者の方が読み聞かせを行ったりと、いろいろな設定でお話に触れる機会となっています。よく「読み聞かせはいい。」と言われますが、実際のところ、読み聞かせを行うとどんなよさがあるのでしょうか。2006 年当時東京医科歯科大学大学院教授でいらっしゃった泰羅雅登先生が脳科学の視点で読み聞かせの研究を行っています。

母親が読み聞かせをするとき、母親が子供の気持ちを考えて、あるいは主人公になったつもりで読み聞かせを行うことで、人と人とのコミュニケーションをとるときに使われ、相手に共感する、また相手の気持ちになって考えるときに強く動く、「前頭連合野」をよりよく働かせ、母親の脳は健康になるそうです。前頭連合野は行動や情動のコントロールをする、意欲や集中力を持ち続ける、ものごとを記憶したり、学習したりするといった働きをする部分です。そして音読することは脳の大部分を活性化し、前頭連合野も活発に動くとのことです。

一方で子供にとっては、読み聞かせをしてもらうことで、大脳辺縁系という部分が活動するとのことです。大脳辺縁系は、感情、情動に関わる働きをする場所です。つまり「心の脳」に働きかけるというのです。この部分は喜怒哀楽を感じる部分で、読み聞かせをしてもらうことで、こわい、悲しいがしっかりわかる、うれしい、楽しいがしっかりわかる子供を育てることにつながります。「心の脳」がしっかり動くようになると、理性以前の行動がきちんとできるようになり、その上で社会のルールを守るなどの行動につなげることができます。

そして、「読み聞かせは子どもの脳に働きかけるとともに、正のスパイラルを生み出すことによって親子の強い絆を形成していく」とのことです。読み聞かせは親子ともに脳を活性化させ、そして絆を深める行為であるということです。

今月末から長い休みに入ります。園からも絵本を貸し出します。ぜひ親子で読み聞かせの時間をつくり、脳を働かせ、絆を深めていただきたいと思います。一学期、本園の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございました。健康・安全に気を付けてお過ごしください。

楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

＜3 歳もも組・りんご組＞
初めてがいっぱい！楽しいね！

園生活がすっかり自分たちのものとなり、伸びやかに遊ぶ子供たちです。6 月は初めてのことがいっぱいの年少組でした。保育参観日でおうちの人といろいろな遊びをしたこと、親子遠足、プール開き、のりを使っての製作遊び…子供たちの『初めて』に立ち会い、改めて、「もっとやりたい！！」と心が動くことの大切さを感じます。プール開きでは、プールにたまっていく水にキラキラと目を輝かせ、水着えへの着替えも自分でやろうと奮闘していました。

７月は引き続き、水遊びやプール遊びで水に親しんだり、七夕や夕涼み会などの夏ならではの行事に参加したりと、『初めて』をたくさん経験していきます。一人一人の体調に気を付けながら、安全にそして楽しく過ごしていきます。

＜4 歳たんぽぽ組＞
水族館にはこんな魚もいたよね！！

親子遠足で見た魚を思い出したり魚の図鑑を広げたりしながら、魚のペープサートを作った子供たち。中型積木で池のような枠を作ったところ、「魚を泳がせようよ」「魚釣りみたいにしたら？」などいろいろな考えが出ました。ペープサートを自分なりに工夫して動かし、魚が泳いでいる様子を表現しようとする様子や、それぞれの魚の形を考えながら画用紙を使って魚を作る姿が見られ、魚釣りごっこが始まりました。水族館で受けたレクチャー「魚のかたちいろいろ」を思い出しながら、友達とウツボやハリセンボンを自分なりに作り、とても満足そうな子供たちでした。楽しそうに魚釣りをしているたんぽぽ組の遊びに、年少組も集まり、一緒に遊びを楽しみました。

７月はプール遊びに加え、七夕集会、夕涼み会などの行事もあります。子供たちの体調に気を付けながら、みんなで様々な経験を重ねることを楽しめるよう、一人一人の思いに寄り添い、丁寧にかかわっていきます。

＜5 歳ばら組・ひまわり組＞
みんなで作って食べるとおいしいね！！

年中組のときから育てていたじゃがいもや、年長組になってから植えたなすを収穫し、「美味しいカレーを作ろう！」と心待ちにしていた子供たち。足りない具材を自分たちでスーパーに買い物にも行きました。みんなで力を合わせて遊戯室を掃除したり、テーブルを運んで準備をしたりして期待を膨らませながら迎えた当日。ボランティアの方の力を借りながら、真剣な表情で野菜を切ったり、炒めたりしてグループの友達と協力をして調理をしました。自分たちで作ったカレーは一段とおいしく、「大成功だね！」と満面の笑顔で話す姿がたくさんありました。おすそわけした年少・年中組からも「おいしかったよ。ありがとう。」の言葉をもらうことができました。

年長組ではカレー会食を通して、友達と力を合わせて取り組むことの充実感や達成感を感じることができました。７月はプール遊びや七夕、夕涼み会などの行事があります。引き続き、友達と力を合わせることでの達成感や友達の良さを感じることができるように援助していきます。